

クライミングを利用するに当たってのリスク説明

クライミングは、危険を伴うスポーツです。クライミングの種類や行う環境によって危険度は異なりますが、その本質は変わりません

- 1 ロープやハーネス等の用具のセットミスは、重大な事故につながります。クライミングを行うに当たって「自分の安全は自分で守る。」ことが基本です。用具を正しくセットしたことを確認するのは、当事者本人の責任になります。
- 2 ロープ操作を誤ると重大な事故につながります。本人に過失が無くてもパートナーのミスで重大な事故になる場合があります。また、自分のミスでパートナーを事故に巻き込む場合もあります。
- 3 第三者の事故に巻き込まれる可能性があります。上方から落下してきた人に激突される場合や登はん者が落下させた物に当たって事故に巻き込まれる場合があります。
- 4 ホールド(手掛かり)の回転や破損には十分注意していますが、その性質上、完全に防ぎきることはできません。そのことを考慮したうえでクライミングを行ってください。
- 5 クライミング中の安全を確保するには、冷静な判断能力が必要です。自分の技術を超えて無理をすると、ケガをする場合があります。

クライミングの団体使用に関する誓約書（団体用）

あて先

令和 年 月 日

指 定 管 理 者 様

団体名	
代表者名 (フリガナ)	
住所 連絡先	電話番号

当団体は、上記のリスク説明をよく理解し、スポーツクライミングが大きな危険(死亡や重大な障害を含む)を内包したスポーツであり、また安全を確保する技術や設備が完全でないことをよく認識しています。また、当団体の行動が他の参加者を大きな危険にあわせる可能性があることも認識しています。

岐阜市体育ルームクライミングウォールの団体使用にあたり、下記の事項を当団体が遵守することを誓約します。

記

- 1 使用にあたっては、岐阜市体育ルームクライミング使用規定を遵守します。
- 2 使用にあたり、**スポーツ安全保険に加入しています**。保険期間満了時には、更新したうえで使用することを遵守します。
- 3 団体の構成員のうち、岐阜市体育ルームクライミングウォール認定証保有者が1/3以上います。活動中は、2人以上の認定証保有者が同伴し、指導にあたります。
- 4 使用にあたっては、事前にロープの損耗、ホールドの回転や破損等について、十分に点検を行います。
- 5 クライミングウォールでの事故については、施設等に不備、不具合がない限り、一切の責任は、私が負うものとし、指定管理者及びクライミング指導員には損害賠償を請求しません。

〈団体名簿は裏面〉

令和 年 月 日

岐阜市体育ルーム・クライミングウォール使用 団体登録申請名簿

利用者番号

--	--	--	--	--	--	--	--

市内

市外

新規

変更

利用団体名

団体の連絡先

※代表者連絡先

氏名

住所 〒

緊急連絡先（携帯電話等）

※責任者連絡先（代表者以外）

氏名

住所 〒

緊急連絡先（携帯電話等）

※団体名簿（代表者と責任者を含む） 認定証保有者は団体構成員の1/3以上の方がが必要です。

氏 名	電 話 番 号	生年月日	住 所	認定証の有無
1 代表者		T S H		有・無
2		T S H		有・無
3		T S H		有・無
4		T S H		有・無
5		T S H		有・無
6		T S H		有・無
7		T S H		有・無
8		T S H		有・無
9		T S H		有・無
10		T S H		有・無
11		T S H		有・無
12		T S H		有・無

氏 名	電 話 番 号	生年月日	住 所	認定証の有無
13		T S H		有・無
14		T S H		有・無
15		T S H		有・無
16		T S H		有・無
17		T S H		有・無
18		T S H		有・無
19		T S H		有・無
20		T S H		有・無
21		T S H		有・無
22		T S H		有・無
23		T S H		有・無
24		T S H		有・無
25		T S H		有・無
26		T S H		有・無
27		T S H		有・無
28		T S H		有・無
29		T S H		有・無
30		T S H		有・無
31		T S H		有・無
32		T S H		有・無
33		T S H		有・無
34		T S H		有・無
35		T S H		有・無
36		T S H		有・無
37		T S H		有・無